



会社概要

FCVは1986年にコロンビアの心臓専門医らによって非営利財団法人として設立され、その後、国内最大手の民間保健医療ネットワークへと成長しました。FCVは病院で三次医療サービスを提供するほか、遠隔治療、トレーニング、医療器具の製造、生物学機器の組み立て、病院の運営ソフトウェア、およびその他のサービスも提供しています。

BOP層へのインパクト

年間15万人以上の患者にサービスを提供し、そのうち45%が低所得者

課題

- 心疾患による死亡率の高さ
- 小都市に住む患者は、複雑な手術を含め、専門的な保健医療サービスを提供する病院へのアクセスが欠如
- 地方の低所得者は保健医療サービスを受けるために都市までお金と時間をかけて出向く必要があり、訪問を見送ることが多い
- 小都市や地方の医師は一次医療に重点的に取り組む

戦略

- 小都市やその近郊の患者に高度で複雑なサービスを提供できる病院を建設
- 収益の向上とコストの削減を目的とした垂直統合のビジネスモデルを採用することで、低所得層の患者にもサービスを提供
- 遠隔治療を活用し、地方の遠隔地にいる医師や患者にまでサービス提供の範囲を拡大
- 政府と協力し、保健医療システム全体にわたる改革を進める

成果

- 2013年時点でFCVは4つの病院で600床以上を管理し、5つ目の病院も建設中
- FCVの病院で毎年、保健医療サービスを受ける患者のうち約45%が低所得者
- 2011年から2013年の間に遠隔治療サービスを受けた患者は2,800人以上を数え、これまでの総計は7,575人以上に達する
- 地方の48の病院に加え、76の辺境区にある遠隔の町村で200以上の一般開業医に遠隔治療サービスを提供

IFCの役割

- 2012年に3,000万ドルの長期融資を提供
- サンタンデル県のフロリダブランカ区に468床の新病院建設を可能にすることで、同区の病床あたりの赤字削減を実現
- コロンビアの大手民間銀行Bancolombiaを通じて第三者融資を円滑にする
- ラテンアメリカやその他の地域で保健医療事業を展開するIFCのクライアント企業のネットワークへのアクセスを可能にする



FCVのインクルーシブ・ビジネスモデル

FCVは小都市の低・中所得層の患者に三次医療サービスを提供できるよう、規模を拡大しています。その主な重点分野は心臓病学、心臓血管外科、神経外科ですが、FCVは神経学、臓器移植、リスクの高い分娩に対応できる産科、小児科も得意な分野としています。またコスト削減のため、FCVは垂直統合のビジネスモデルを採用しており、各部署が病院ネットワーク全体向けに製造、組み立て、調達、医療品やサービスの提供をそれぞれ担当しています。これらの医療品とサービスを国営、民間の病院や診療所、および一般開業医にも販売することで収益を上げています。

遠隔治療の先駆者として、FCVは遠隔地に住む低所得の患者にも保健医療サービスを提供してきました。このイノベーションによって、都市の病院へ行くための紹介状の必要を減らし、小さな町における一般開業医の確保を促し、病院および患者が負担するコストを削減することで、保健医療システムそのものの効率性を高めています。FCVが提供する遠隔治療サービスには、診察、ICU、放射線医学のほか、FCVの専門医が観察できるように画像とリアルタイムのデータが送信できるEKG(心電図)などが含まれます。

FCVは、そのサービス提供範囲の拡大と時宜を得た早期医療介入を目的としたデジタル保健医療システムを、政府と協力してサンタンデル県ブカランガに試験導入しています。これにより、国営の一次医療センターの医療専門家が、FCVの病院を含む専門施設が持つ専門技術と診断法にアクセスすることが可能になります。詳しくはwww.fcv.orgをご参照ください。